

かたぐい

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく

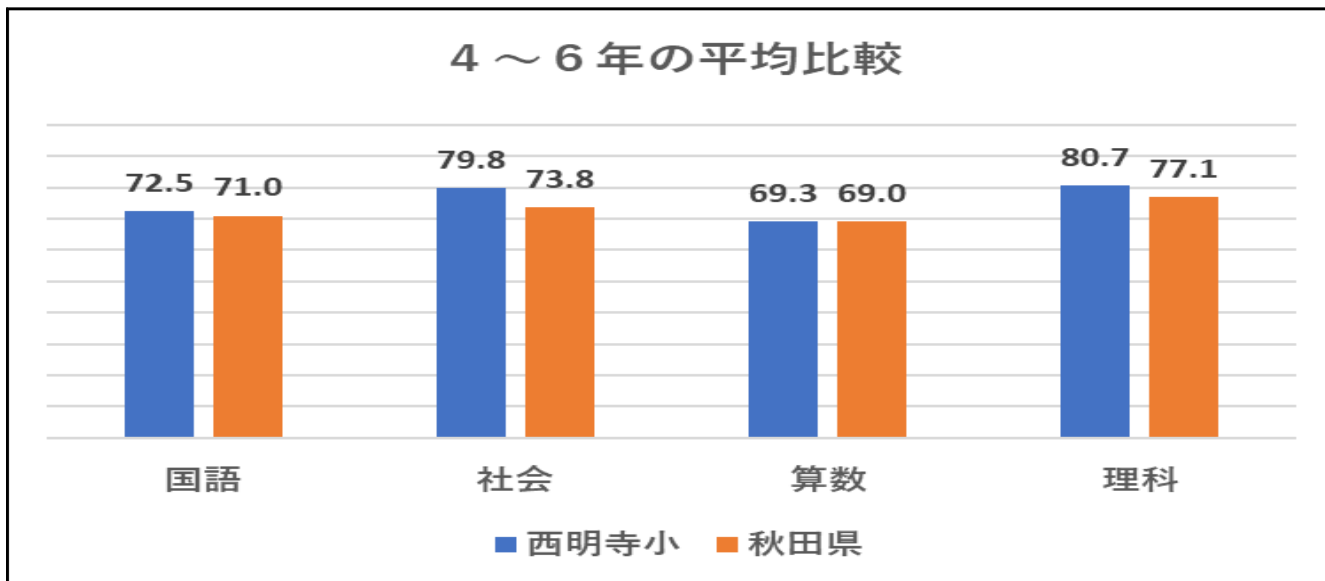


令和5年度
第59号

2024. 2. 7

「県学習状況調査結果について」

※ グラフは、4・5・6年全体平均（社会のみ5・6年）についての本校と県の比較



- 実施期日 令和5年12月6日（木）
- 実施目的 児童生徒の学力維持向上及び学習状況の把握
- 実施教科 国語 社会 算数 理科
- 調査内容 ①教科に関する調査 ②生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査

- ・ 国語については、県平均を上回った学年が2つ。他の1つの学年は、ほぼ県平均並みでした。どの学年も、どの学習内容も定着状況は概ね良好といえます。さらに力を伸ばしていくためには、昨年度と同様に「読む力」がポイントになります。目的に合わせた読み取りをするために、授業の中で子ども同士の対話や交流を基にした「読み解く学び」を、さらに進めていきたいと思ひます。
- ・ 社会については、5・6年ともに県平均を上回りました。定着状況は概ね良好といえますが、5・6年ともに「資料からの読み取り」に課題が見られました。「資料から読み取る」という個での「読み解く学び」が基本となります。資料の見方や読み取り方をしっかりと押さえていきたいと思ひます。
- ・ 算数については、県平均を上回った学年が2つ。他の1つの学年は、ほぼ県平均並みでした。どの学年も学習内容の定着状況は概ね良好といえます。ただし、4年生では「3位数×2位数の筆算」、5年生では「基準量を求める除法」、6年生では「小数及び分数の除法」という内容で特に課題が見られました。もう1度、基礎基本を確認していきます。
- ・ 理科については、すべての学年で県平均を上回りました。どの学年も学習内容の定着状況は概ね良好といえます。ただし、4年生では「電流の向き」、5年生では「顕微鏡操作」、6年生では「電磁石」に関する問題でミスが目立ちました。再度、操作手順や実験内容などを再確認し、しっかりとフォローアップしていきます。
- ・ 昨年度に比べて、全体的に力が上がっていると思ひます。授業において、「読み解く学び」で考えを広げたり深めたりし、「自信を深める振り返り」で、自己の成長を実感したり、他者から認められることで自信を深めたり、分からないことを明確にしたりすることを繰り返してきたことが、力の向上につながっていると思ひます。今後も、「読み解く学び」と「自信を深める振り返り」を大切にしながら、より思考力を高め、実力アップにつなげていくことができるように、日常の授業を進めていきたいと思ひます。
- ・ どの子どもにも、それぞれに課題があります。年度末まで、その点をしっかりとフォローアップしていきます。

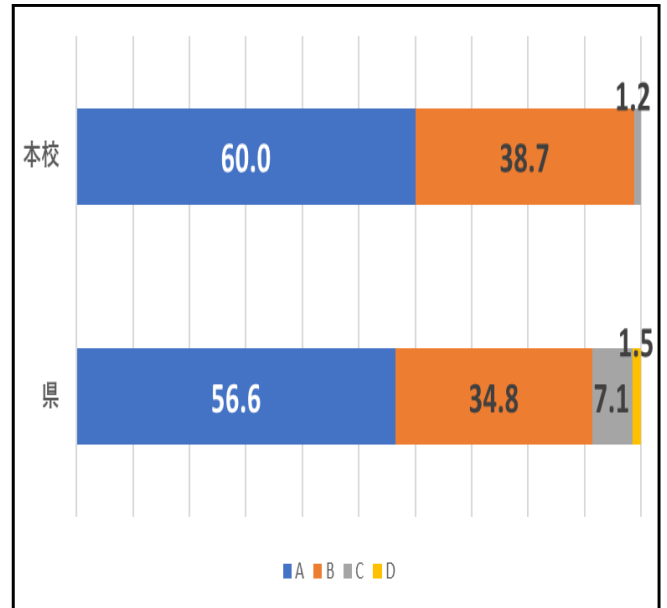
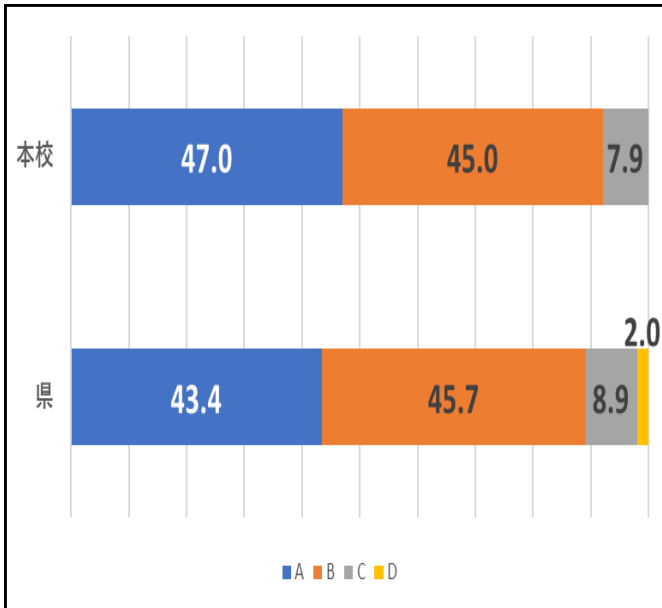
○4～6年は県学習状況調査、1～3年はCRTの個人票を配布します。

○学年ごとの県学習状況調査やCRTの結果については、学年通信等をご覧ください。

※ グラフは、学習習慣等に関する質問紙における4・5・6年の平均

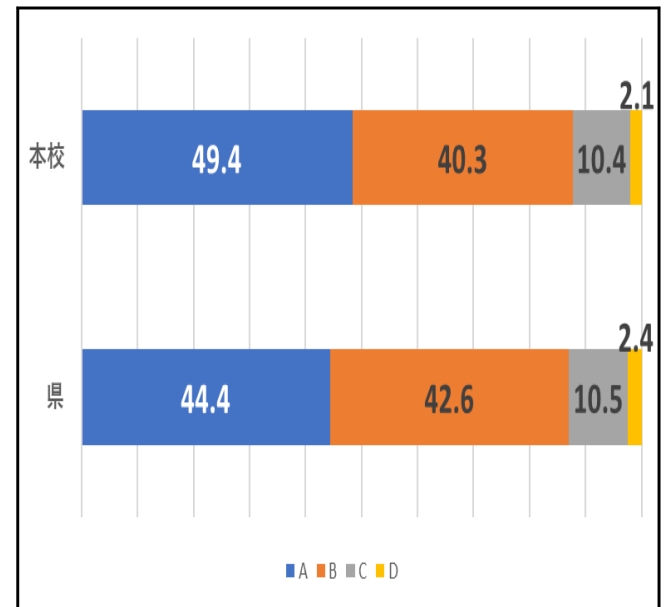
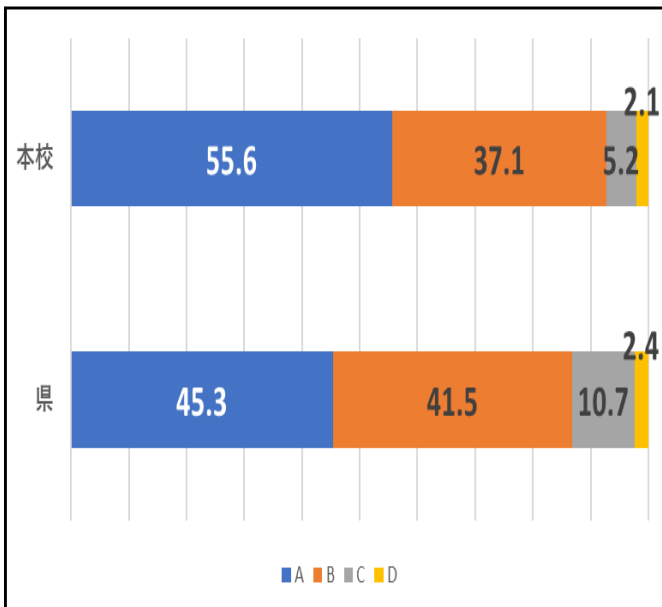
○ふだんの授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を意識して学習に取り組んでいると思う

○ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う



○ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う

○ふだんの授業では、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う



- 本校では、共に学び自らを高める『くりっこ』を目指して、「読み解く学び」の展開と「自信を深める振り返り」の充実を、普段の授業で、「子どもたちが見通しをもって学習を進めることができるようめあてや課題、問題の設定」「考えを広げ深めるための子ども同士の対話や交流による読み解く学び」「成長を実感したり、他者を認めたり（他者から認められたり）、わからないことを明確にしたりして自信を深めて新たな学びにつなげる振り返り」を共通実践事項として取り組み続けてきました。上記4項目の質問に対する子どもたちの肯定的回答結果が全て県平均を上回っていることから、本校の授業では、「めあての設定」「読み解く学び」「振り返り」が行われ、子どもたちも、それを意識して授業に取り組むことで考えを広げたり深めたりしていることがわかります。今後も、この授業スタイルを継続するとともに、「読み解く学び」から「振り返り」へのつながりを意識した授業を展開することで、子どもたちが自身の学びの成果や課題を、よりしっかりと感じるできるよう、授業改善に取り組んでいきます。